

第5次上尾市総合計画(案) 市民コメントの意見要旨と市の考え方 一覧表

◎意見募集期間 平成22年10月7日(木)～平成22年11月8日(月)

◎応募意見状況 応募者数 4名
意見件数 35件

No.	ページ	項目	箇所	意見要旨	市の考え方	計画への反映
1	全般			○意見 全体的にカタカナ用語が多すぎます。私のレベルが低いといわれればそれまでですが、全体で20語以上不明な用語があり、そのほとんどがカタカナ用語です。日本語で表現できるものは日本語で、適切な日本語が見当たらないときは、括弧で解説を書いてください。 「参考資料」と言っ引きで本文を読むようなことはごめんです。	これまでの作業では極力カタカナ語を減らすよう努めました。専門用語などは別の言葉に言い換えると、表現が変わってしまったり、文中に解説を加えることで、かえって読みづらくなる、といった問題もあり、文末に解説を加えることとしましたが、製本までの期間に再度確認し、カタカナ用語の表記を改められる用語については、修正したいと考えています。	
2	11 21 128	用語解説		○追加要望 “広聴”の用語は、行政関係者には広く使われていて広報・広聴課のように使っている自治体もあります。しかし、義務教育現場で利用されている2006年版三省堂の国語辞典には収録されていません。また、2008年発行の岩波書店の広辞苑・第6版に始めて収録された用語です。 行政の文書は、義務教育修了者が理解できる内容が好ましいと考えますので、広くなじみが出るまでの間は、巻末の用語の解説に、この用語を追加できないでしょうか。市民の目線で点検をお願いします。	ご意見の趣旨を踏まえ、巻末の用語解説に掲載します。	参考資料 ●用語解説 【広聴】 住民の行政に対する意見、要望などを聞くこと
3	14	はじめに	4.上尾市の基本的課題 基本的課題10「公共施設などの計画的な整備と維持管理」	○追加要望 また、ESCO事業※導入…重要です。さらに、スマートエネルギーネットワーク※によるエネルギーの効率的な利用を推進する取り組みも必要です。	基本的課題10では、「公共施設などの計画的な整備と維持管理」に特化した課題を記述していることから、新たなエネルギーの活用については、もっと広い意味合いで、環境分野に位置づけたいと考えており、2-1-1「低炭素社会」の施策内容のひとつとして追加記入します。	基本計画 2-1-1「低炭素社会」 施策3)「新たなエネルギーの導入」 ●再生可能エネルギーや未利用エネルギー等の新たなエネルギーの活用を検討します。
4	16	基本構想	1.まちづくりの基本理念	○修正要望 基本理念の説明の文章の構成が、“誰が”“なにを行う。”の表現に統一されていないので読みにくい。協働および共生は、わかりやすいが、自立および独創は工夫がほしい。 次のような表現を提案します。 自立 市民・事業者・行政が目標の実現に向け、主体性を持って、自立的に自らのまちづくりをすすめ、未来に引き継ぐ。 独創 市民・行政は歴史や伝統を踏まえつつ、多くの市民の誇りとなる新たな個性と魅力ある文化を築く。	ご意見の趣旨を踏まえ、修正します。なお、文章内では自律と記述していますが、ここでは自らを律したうえで、自立するとの意味で、敢えて「自律」と記述しています。	基本構想 1.まちづくりの基本理念 「自立」 市民・事業者・行政が主体性を持って、自律的に、責任を持って自らのまちを未来に引き継ぐ 「独創」 市民・事業者・行政は、歴史や伝統を踏まえ、新たな文化を築き、その個性と魅力を誇りとして、多くの人々をひきつける
5	16	基本構想	1.まちづくりの基本理念	○追加要望 まちづくりの基本理念として「協働・自立・共生・独創」を上げられているが、いずれも住民の自治意識の高揚なくしては成り立たないと考えます。したがって、協働・自立の項において、「住民自治の確立」のような文言を挿入されることを要望します。	今後の上尾市のまちづくりを進めるうえでは、住民自治の意識が高まっていくことが重要な要素となることから、貴重なご意見として承ります。 市では、「自立」との基本理念を掲げ、自らを律して未来に引き継げるまちづくりを進めていくことが、住民自治の確立につながれるものと思っています。	
6	20	基本構想	3.まちづくりの基本方向 (2)未来につなぐ環境づくり	○追加要望 …都市全体の環境負荷の低減に結びつけるとともに、エネルギーの有効利用を推進しながら、環境と共生した将来に持続可能な資源循環型社会の形成を目指し、地球環境の保護に貢献します。	ご質問の趣旨を踏まえ、追加記入します。	基本構想 3.まちづくりの基本方向 (2)未来につなぐ環境づくり 身近な環境保全や…都市全体の環境負荷の低減に結びつけるとともに、新たなエネルギーの活用を検討しながら、環境と共生した将来に持続可能な資源循環型社会の形成を目指し、地球環境の保護に貢献します。
7	32 33	基本計画	1-2-2「高齢者福祉」	○意見 高齢者世帯および認知症の方が狙われやすい振り込み詐欺、家屋修理詐欺、財産管理詐欺などの被害を少しでも減らすための巡回相談員制度(民生委員に任せる方法では人的に限界がある。)、成人後見人制度の充実が必要ではないだろうか。老後の蓄えが失われては、後の生活が闇に閉ざされてしまう。	貴重なご意見として承ります。なお、消費者保護の内容については、1-3-5「消費生活」に位置付けています。	
8	32 33	基本計画	1-2-2「高齢者福祉」	○意見 高齢者とは「守られるもの」という観念があるのではないですか。その結果、「高齢者が自主的・主体的に社会参加し、生涯学習活動を…」、「高齢者の就労機会の拡充や社会参加の受け皿として、シルバー人材センターとの…」に結びついていますが、生きがい「生涯学習活動」や「就労機会」に凝縮されているのは疑問です。 今後の高齢化社会にあっては、高齢者自らが高齢者福祉活動(ボランティア活動)の主役となるべきであり、団塊の世代といわれる“若年”高齢者が、地域ボランティア活動に積極的に参画する現状において、「生きがいづくり」を生涯学習や就労支援に凝縮せず、高齢者がボランティア活動の中心的役割を担うことによる生きがいづくりを明記し、そのための環境づくりを支援すべきだと思います。	高齢者が、地域ボランティア活動の中心的役割を担うことについては、基本方針で「高齢者を地域社会全体で支える共助の仕組みづくりを進めていく」という表現の中に含んでいます。現在もアビィー元気体操のリーダーや脳の健康教室サポーターなどボランティアの方々にも広く活躍をいただけており、今後も活躍の場を広げていく予定です。また、7-1-2「協働」の施策「2)まちづくり団体への支援」でも活動しやすい環境整備等の支援を位置付けています。	
9	38 39	基本計画	1-2-5「社会保険」	○意見 「給付の適正化」とはどのようなことですか?給付額等の充実であればいいですが、「減額」につながることであれば賛成できません。	ここである「適正な給付」とは、適正な介護給付費を支払うことで、不適切な給付を無くしていくことを意味しています。	
10	40 41	基本計画	1-3-1「交通安全」	○追加要望 「信号機の設置等を警察や公安委員会に強く働きかける」といった文言を挿入してください。	市では、信号機や横断歩道、一時停止、一方通行などの交通規制に関する要望書を、所管する公安委員会や県に対し毎年提出しています。 公安委員会では、これらの交通対策を施す際は、設置場所や交通上の支障の問題、横断時の待機スペースの確保、さらには多くの要望のなかでどこを優先させるか、といった様々な問題を検討したうえで、市と連携しながら設置している状況です。 このため、総合計画では「信号機や横断歩道、一時停止などの交通規制については、関係機関と連携して整備・充実を図ります」と記述させていただきました。	
11	42 43	基本計画	1-3-2「防災・国民保護」	○削除要望 「武力攻撃事態」は何を想定しているのでしょうか。物騒な言葉を使うことにより、無理やり危機感をおおる必要があるのか疑問です。「平和ボケ」への警鐘とは違うと思います。6)項の削除を求めます。	武力攻撃事態などが発生した場合、市には、市民を安全に避難させ救援していく重要な責務があります(「武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律」による)。したがって、万が一の場合に備え、訓練など通じて実施体制の整備を進めることが必要であると考えています。 なお、施策を推進するにあたっては、市民の皆さんに誤解を招かないよう十分配慮しながら進めていきます。	
12	52 53	基本計画	2-1-1「低炭素社会」	○追加要望 【基本方針】 …環境に配慮した行動やエネルギーの有効利用、自然エネルギーの導入等に取り組みます。	ご質問の趣旨を踏まえ、追加記入します。	基本計画 2-1-1「低炭素社会」 【基本方針】 上尾市環境基本条例に基づき、…環境に配慮した行動や自然エネルギーなどの新たなエネルギーの活用について検討します。併せて…
13	52 53	基本計画	2-1-1「低炭素社会」	○追加要望 施策2)「率先的な環境配慮活動」 ●環境負荷の調査…、地球温暖化防止地域実行計画を策定し計画的な改善に取り組みます。	ご意見の趣旨を踏まえ、追加記入します。	基本計画 2-1-1「低炭素社会」 施策2)「率先的な環境配慮活動」 ●環境負荷の調査…、地球温暖化防止地域実行計画を策定し計画的な改善に取り組みます。

No.	ページ	項目	箇所	意見要旨	市の考え方	計画への反映
14	54 55	基本計画	2-1-2「資源循環」	○意見 新規購入と引き換えに廃棄品のリサイクルを購入店に依頼する分は除いて、不要になった製品をリサイクルセンター（例えば、西貝環境センター内に設置）に持ち込めば、すべて受け入れのうえ、有料品はその代価を収受して、すべての品をリサイクル処理のルートにのせるように確立してほしい。	貴重なご意見として承ります。	
15	56 57	基本計画	2-1-3「生活環境」	○追加要望 施策1)「環境保全対策」 ●自動車の排出ガスを抑制すべく、塵芥車や公用車等への低公害車※導入を関係機関と連携し推進します。	ご意見の趣旨を踏まえ、追加記入します。	基本計画 2-1-3「生活環境」 施策1)「環境保全対策」 ●自動車の排出ガスを抑制するため、低公害車の導入を関係機関と連携して推進します。
16	72 73	基本計画	3-1-3「住環境」	○修正要望 大規模団地(UR賃貸住宅)の最大の問題は、行政改革議論において絶えず提起される「UR賃貸住宅の売却・民営化」と、景気の如何に関わらず3年ごとに繰り返される「家賃値上げ」により、「居住の安定」が脅かされることで、「施設のユニバーサルデザイン化」等ではありません。 大規模団地の高齢者対策は、「UR賃貸住宅を公共住宅として守る」と共に、「収入に応じた家賃制度の導入」や計画されている「定期借家制度の導入」を取り止めることにより、UR賃貸住宅居住者が安心して上尾市に住み続けられることが必要です。 このことについては、本年3月、6月及び9月の市議会において、満場一致で請願が採択され、総理大臣はじめ関係機関に送付されています。また、本年8月には島村上尾市長も同様の「要望書」を総理大臣等に提出されています。 したがって、「施設のユニバーサルデザイン化」に代えて、「大規模団地住民の高齢化に伴い、団地住民が安心してUR賃貸住宅に住み続けられるよう、UR賃貸住宅を公共住宅として位置づけると共に、収入に応じた家賃制度の導入や、家賃の高齢者特別措置の拡大等を、UR都市機構をはじめとする関係機関に要請します」としてください。	ご意見の趣旨を踏まえ、修正します。	基本計画 3-1-3「住環境」 「現況と課題」 ●都市再生機構などが所有する大規模団地などでは、居住者の高齢化が急速に進むなか、ユニバーサルデザインに対応した施設整備とともに、居住の安定を確保することが求められています。施策2)へ 基本計画 3-1-3「住環境」 施策2)「大規模団地の高齢化対策」 ●大規模団地住民の高齢化に伴い、施設のユニバーサルデザインの積極的な推進及び公的賃貸住宅としての居住の安定確保を、都市再生機構をはじめとする関係機関に要請します。
17	74 75	基本計画	3-2-1「交通体系」	○追加要望 上尾市の現時点での長期未整備都市計画道路を示してほしい。西環状線の整備計画はどのようになっているかを知りたい。この件は、都市計画マスタープラン2010でも意見を述べてあります。	図を挿入し、未整備箇所が分かるように掲載します。	
18	78 79	基本計画	3-2-3「公共輸送」	○意見 「ぐるっとくん」の運行本数を増やし、運行無し時間帯は解消すべく。 (例：わくわくランド行きバスは午前中1本のみ。これでは、マイカーのない、あるいは運転免許証を返上した高齢者は、健康のために利用したくともその施設を利用できない。)	現在のぐるっとくんの運行状況ですが、バス会社の3社に運行を委託し、合計9台のバスで運行しています。コースは6コースあり、1日に合計69便を運行しています。 運行本数の増便については、今あるバス9台で1日69便という最大限のダイヤを組んでおり、また、バス車両の入れ替えの途中でもありますので、現状においては増便は難しい状況ですが、乗降客数などの利用実態を調査しながら、効率的で効果的な運行時間に「ぐるっとくん」を走らせることができるよう、引き続き検討したいと考えています。	
19	78 79	基本計画	3-2-3「公共輸送」	○意見 丸山公園等市内の名所や観光地が「ぐるっとくん」で便利に回れると、もっとPRする。そうすることで、高齢者も気軽に出かけられやすくなる。	現在、市の広報誌でイベントごとに「ぐるっとくん」の利用をPRしています。「ぐるっとくん」では、市内の名所や観光スポットも循環していますので、観光協会などと協力しながら、さらにPRできるよう検討します。	
20	78 79	基本計画	3-2-3「公共輸送」	○意見 「ぐるっとくん」を最低でも1時間に1本の定時出発が利用者にとって最も利用しやすい。	運行本数の増便については、今あるバス9台で1日69便という最大限のダイヤを組んでおり、また、バス車両の入れ替えの途中でもありますので、現状においては増便は難しい状況ですが、乗降客数などの利用実態を調査しながら、効率的で効果的な運行時間に「ぐるっとくん」を走らせることができるよう、引き続き検討したいと考えています。	
21	78 79	基本計画	3-2-3「公共輸送」	○修正要望 ぐるっとくんの運行自体は意義あるものと思いますが、瓦葺・尾山台地域住民の生活圏は、東大宮駅方面です。ぐるっとくんが増発されても特段便利になるとは思えません。 発想を転換し、ぐるっとくんのさいたま市への乗り入れ等も視野に入れた表現をお願いします。	市外のJR各駅（東大宮駅、稲川駅、宮原駅、蓮田駅）への乗り入れに伴うルートの拡大は、ダイヤの大幅な改正や循環時間が延びるなどの影響もあり、現在のところ乗り入れは難しいと考えています。	
22	78 79 100 101	基本計画	3-2-3「公共輸送」 5-1-2「商業」	○意見 「ぐるっとくん」について、将来の「買い物難民」対策更には商店街活性化のために、上尾商工会議所が認定した「商店街」には必ず停留所を設け停車するようにする。（上尾市や商工会議所が進める魅力ある商店・商店街の育成の一助になる。）	各商店街に停車することで、市内を循環する時間やダイヤ改正、停留所の設置場所の確保などの問題もありますが、ご意見のとおり商店街の育成の一助につながることも考慮し、今後研究いたします。	
23	80 81	基本計画	3-2-4「自転車利用」	○意見 構想は大賛成ですが、上尾駅前のレンタサイクルの廃止？などと矛盾しませんか？	次期都市計画マスタープランで掲げる予定の将来都市ビジョン「質の高い居住環境と自転車のまち あげお」では、都市基盤整備を基本に自転車ネットワークの形成を目指し、重点的に自転車レーンの整備や歩行者自転車道拡幅整備など、既存道路のルール化を進めて、市民意識調査から求める声が圧倒的に高かった「歩行者や自転車にとって安全で快適な空間のある回遊軸」を基本的な考え方としています。 このため、高齢化が進む現在の状況では、利用者の増加は見込めない点、現在の老朽化した施設に多額の修繕費が掛かる点、毎年の委託費に多額の赤字が発生している点、また低価格の自転車の普及により、埼玉県は自転車の保有率が全国でも高い点、などを総合的に判断したうえで、廃止することになっています。	
24	88 89	基本計画	4-2-2「文化財保護」	○意見 文化財の整理・保管・管理・活用にとどまらず、文化財の常設展示と市の無形文化財のビデオを放映(常時)できる施設の設置を求めます。	ビデオの常時放映といった具体的な内容については、貴重なご意見として承ります。	
25	98 99	基本計画	5-1-1「農業」	○追加要望 次項の「商業」とも関係しますが、地元農家や市民農園の農産物の地元消費者への積極的提供を図ることを挿入してください。	地元農家の農産物については、積極的に地産地消を図ることについては、5-1-1「農業」の施策4)「都市農業の推進」で記述しています。	
26	100 101	基本計画	5-1-2「商業」	○意見 「ぐるっとくん」の中に商店街のPRコーナーを設け商店街独自のPRに無料で活用してもらおう。複数の商店街に停まる場合は1週間単位等順番に行う。	「ぐるっとくん」の車内広告は、公共情報や公共性が極めて高いもの以外は有料で行っています。今後商店街からの要請などがあれば、検討したいと考えています。	
27	100 101	基本計画	5-1-2「商業」	○意見 商工会議所等の商業振興策はどうなっているのかよく見えません。商業振興条例は大規模小売店の地元貢献を規定しただけの条例のようで、これで商業振興が図れるとも思えません。尾山台団地では、昨年11月からボランティアへの謝金を「地域通貨」で支払い、わずかですが地元商店の活性化に努めています。 県下の某市では、割引なしの「地域通貨」を発行し、6枚つづりに福引券をつけるなどの取り組みをしているところもあります。もう少し知恵を出しませんか？	次期総合計画を補完する具体的な商業計画として「商業振興計画」が必要と考えています。その中で、商店街の活性化や環境整備の支援策のひとつとして、地域通貨などについても研究いたします。	

No.	ページ	項目	箇所	意見要旨	市の考え方	計画への反映
28	104 105	基本計画	5-1-4「観光」	○意見 瓦葺・尾山台地区の市民にとって、荒川バレイでの花火大会や上尾駅のイルミネーションにはほとんど関心ありません。 以前3回ほど行った「大綱引き」などは、市民の心を一つにすると共に、観光的要素もあり、いいイベントだと思っていたのですが、復活できませんか？	今後も、市民が共通して参加・体験できる観光資源の発掘に努めていきます。	
29	110 111	基本計画	6-1-1「出産・子育て支援」	○修正要望 「町内会や自治会などと協働し…」とありますが、具体策はあるのですか？尾山台団地では、尾山台みんなのひろばで毎月1回「親子教室」を開催し、団地内外の乳幼児が毎回30人前後参加しています。また、「尾山台みんなのひろば」には毎日数組の乳幼児が遊びにきています。このような活動の支援を明記してください。埼玉県が始める「赤ちゃんの駅」事業も記載してもいいのではないですか？	平成22年3月に策定した平成22年度から平成26年度までの「上尾市次世代育成支援行動計画（後期計画）」において、「地域における子育て支援のネットワークづくり」のひとつの事業として計画しています。現時点では具体策はありませんが、現在、地域で実施されている子育て中の親子を対象とした事業を参考にしながら計画を進めていきたいと考えています。 なお「赤ちゃんの駅」事業は、県の施策事業として平成22年度内に64か所の公共施設及び民間幼稚園、保育園などで整備を行い、使用開始を予定している事業です。	
30	118 119	基本計画	6-2-3「青少年」	○修正要望 青少年育成連合会が行っている「あいさつ運動」や「読み聞かせ」活動等が、青少年の健全育成に大いに役立っていることを明記してください。	ご意見のとおり、青少年育成連合会を構成している地区会議や青少年育成推進員協議会などが行っている「あいさつ運動」、「読みきかせ」などの活動は子どもの健全育成に大いに役立っているため、活動の支援が必要と考えています。このことから、6-2-3「青少年」の項目中の「現況と課題」を修正します。	基本計画 6-2-3「青少年」 「現況と課題」 ●家庭・学校・地域が一体となって青少年の自主活動の充実を努めてきました。特に、青少年育成連合会を構成している地区会議や青少年育成推進員協議会などが行っている「あいさつ運動」や「読みきかせ」の活動、子ども会の活動は、青少年の健全育成に大きな成果を上げています。引き続き次代を担う青少年の健全育成のために、関係する青少年育成団体を支援し、組織の強化に努める必要があります。
31	122 123	基本計画	7-1-1「市民参加とコミュニティ形成」	○修正要望 市民参加や協働によって、住民自治の確立は不可欠だと思います。そして、住民自治にとって自治会や町内会の活性化も絶対条件です。住民自治とは、当該単位（地区）の住民が、自分たちのことを自分たちで考え対応することだと思います。 現在、上尾市には区長（事務区）制度がありますが、上尾市の区長制度は、市の事務の円滑な運営と処務の便宜を図るために設けられているもので（上尾市事務区設置規程第1条及び第2条）、区長は、非常勤で当該区の推薦に基づいて市長が委嘱することになっており（第5条）、その事務は、市行政の連絡調整に協力すること（ア、回覧文書の配布、イ、広報、チラシの配布）等で（第9条）、区長には条例による報酬が支給されています。 つまり、区長制度は基本的には行政の意思の伝達組織であって、住民自治に基づく組織ではありません。 上尾市の区長は、ほとんどの地区で自治会や町内会や自治会の会長が務めており、一見住民自治によって見えますが、ほとんどの地区では自治会や町内会と区長制度との整理がつかず、その結果、UP都市機構の団地以外のほとんどの地区では自治会等に未加入の者には、市の広報等を配布しないという異常な事態が生じています。多くの区長さんはこれを当然と思っています。 このことは、区長制度が崩壊しているか、住民自治が変形しているかだと思います。市民参加や協働を進めるためには、住民自治の確立が不可欠だと思います。したがって、P122の総論において「住民自治と区長制度のあり方の検討を進めます。」といった文言を挿入されることを強く要望します。	この項目では、地域コミュニティの中核となるものが、町内会・自治会であることを説明しています。 このため「住民自治と区長制度のあり方についての検討」の表現は記述いたしません。ご意見のとおり、上尾市では条例により区長・区長代理を設け、委嘱し職務を定めていますが、区長が地域活動の核となる町内会や自治会など、地域コミュニティ活動の役員を兼ねている例がほとんどです。 このことから、自治会長＝区長であり、町内会・自治会活動＝区長活動となり、実態として同一視されている傾向にあります。このほか、広報配布などの課題もありますので、区長制度のあり方については、今後検討する必要があると考えます。	
32	128 129 136 137	基本計画	7-1-4「情報共有」 7-2-4「市民サービス」	○意見 “ISO 9001”と組み合わせた理念などを理解しようと、解説の説明を読んでも、市民レベルでは何を伝えようとしているのかわからない。 そもそも行政機関がメーカー及びサービス業と同じ管理手法を行政サービスに適用できるとの考えを持っている人は、極限られる。（実行できれば素晴らしいと思います。） 今まで、これらの活動を進めていることを市民へ啓蒙する機会が少ないのではないかと。 市民（顧客）満足度の達成を第一にとらえて、“行政サービス”を行うときにISO 9001の管理手法を適用して、インプットからアウトプットまでのプロセスを明確にして、それらを正しく推進・管理することが理念と考えます。 これを行政が標榜して活動するには、携わる関係者のトップから窓口職員まで同じ理念で取り組んで、定期的（毎年）に市民満足度を検証することが求められます。そうしないと、お題目のみが空回りして実効があがらない結果になると思います。 この検証作業は、どの部署が実施し、それをPDCAサイクルに反映していく仕組みを説明する場が市議会の機能と思うのですが、実態はどうか？	上尾市では、平成15年8月1日に国際規格であるISO9001を認証取得し、市民が訪れる頻度が高く、市民とのかわりの深い本庁舎1・2階の窓口を対象に市民サービスの向上に取り組んでいます。マニュアルに基づき、定期的に各課・事務局（庶務課）でアンケート調査を実施することにより、市民満足度を検証し、市民サービス向上に努めています。また検証方法や反映状況などは、市議会的一般質問の中でも説明しています。今後もISO9001により「心のこもった対応」と「心のかかったサービス」を提供いたします。	
33	130 131 132 133	基本計画	7-2-1「行政運営」 7-2-2「財政運営」	○意見 市民の行政への要求は、拡大する一方だと思います。しかし、市の財政事情からしてこれらの要求をすべて受け入れることは困難だと思います。 市の職員がやらなければならない仕事と、外部委託できるものとを分けし、外部委託できるものは積極的に活用するようにしてください。その際、地域ボランティア（NPO法人等）に委託できるものを増やしていただければ、経費の少なくともすむと思います。 なお、市民に対し、要求を実現するためにはどれだけの負担が必要という現実を示し、選択させること等も必要ではないでしょうか。	ご意見のとおり、市では、厳しい財政状況を踏まえ、事業の選択と集中により、真に市民が必要な施策を優先して進めていきたいと考えています。この中で、地域ボランティアをはじめ、多くの場面で市民のご協力をいただき、市民と行政が互いに連携、協力、補完できる体制や仕組みづくりを構築しながら、協働によるまちづくりを実現していきたいと考えています。なお、7-2-1「行政運営」の施策③「民間活力の導入」でも位置づけています。	
34	149	参考資料	●用語解説	○追加要望 [スマートエネルギーネットワーク] 分散型エネルギーシステム※に、太陽熱・太陽光・バイオマスなどの再生可能エネルギーと清掃工場廃熱のような未利用エネルギーを組み合わせ、供給側だけでなく、需要側もICT（情報通信技術）を活用して最適に制御し、熱と電気を地域内で面的・ネットワーク的に利用することにより、省エネルギー・省CO2を図るシステム。	「スマートエネルギーネットワーク」との用語は、一般的に浸透されていない用語であるため、計画では記述せずに「新たなエネルギーの活用」として説明いたします。	
35	150	参考資料	●用語解説	○追加要望 [低公害車] 窒素酸化物（NOx）や粒子状物質（PM）等の大気汚染物質の排出や騒音の発生が少なく、燃費性能が優れている自動車の総称。電気（EV車）や天然ガス（CNG車）の他、電気とガソリン併用のハイブリッド式（HV）、天然ガスとガソリン併用のハイブリッド式（HV）、天然ガスとガソリン併用のハイブリッド式（HV）などがある。	ご意見の趣旨を踏まえ、追加記入します。	参考資料 ●用語解説 [低公害車] 窒素酸化物（NOx）や粒子状物質（PM）などの大気汚染物質の排出や騒音の発生が少なく、燃費性能が優れている自動車の総称。電気（EV車）や天然ガス（CNG車）のほか、電気とガソリン併用のハイブリッド式（HV）、天然ガスとガソリン併用のハイブリッド式（HV）などがある。